

「英検」合格の勉強を通じて確かな英語力を身に付けよう

－「英検」も、音読練習、書き取り練習、問題練習を徹底しよう－

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾では、「英検」取得は「必修」なのですね。

A：(林明夫：以下省略)はい。開倫塾では、1979年の創塾以来、「英検」合格のための勉強を通じて確かな英語力を身に付けるため、「英検」は必修となっています。

Q：なぜですか。

A：塾生全員が、1年間英語を勉強したら「英検」の1つの級に合格することを目指しているからです。

Q：どのような目安で英検に臨んだらよいのでしょうか。

A：(1)中学校1年生から英語を勉強した人や小学生のときに1年間勉強した人は、「5級」に合格すること。

(2)中学校2年生や小学生から2年間英語を勉強した人は、「4級」に合格すること。

(3)中学校3年生や英語を3年間勉強した人は、「3級」に合格すること。

(4)高校1～2年生や英語を4～5年間勉強した人は、「準2級」に合格すること。

(5)高校2～3年生や英語を5～6年間勉強した人は、「2級」に合格すること。

以上が合格の目標です。

Q：いつから「英検」合格の勉強をすればよいのですか。

A：3学期制の学校は、1学期の期末試験が終了した直後からスタートするとよいでしょう。2学期制のところも、7月初旬からスタートすることが大事です。そして、10月にある第2回の「英検」合格を目指します。小学校6年生は、1月に5級合格を目指しましょう。

Q：開倫塾では、どのように勉強をするのですか。

A：7月に入ったら、「英検」の本格的な勉強がスタートします。夏休みまでの期間に「英検ウォーミングアップ」のために大切なところを勉強し、夏休み40日間をかけて本格的な「英検」合格のための勉強をし、夏休みの最後には前半のまとめのための集中学習を行います。9月からは、後半の問題練習たっぷりの「英検」合格のための勉強をし、10月には最後の追い込みをかけます。

Q：結構本格的な勉強ですね。

A：はい。開倫塾のカリキュラム通りバッチリやれば、誰でも「英検」に合格します。

Q：「英検」合格のポイントは何か。

A：開倫塾の「英検コース」の「復習」、つまり「英検コース」で習ったことをすみからすみまで覚え込むことです。

「英検コース」で習ったところはすべて「大きな声で何回も何回も読む」、つまり「音読練習」をすること。「意味がよくわからなそうな語句」と「書けなさそうな語句」は、「単語ノート」に「英語」と「日本語」を書き写して、日本語を見て英語が言え、書けるようになるまで「書き取り練習」をすること。一度やった問題を5～6回解き直し、問題を見た瞬間に条件反射で正解できるまでに「問題練習」をすることです。

Q：「英検」は「マークシート」で解答するのに、「音読練習」や「書き取り練習」までするのですか。

A：はい。問題を確実に解くには、語句や文章を確実に覚え込まなければなりません。「音読練習」と「書き取り練習」は不可欠です。「単語」や「語句」の量を増やすために、「問題文」や選択問題の「選択肢(せんたくし)」に出てくる「単語」や「語句」、「慣用表現」などもすべて覚える必要があります。()の中に適切な語句を入れる問題は、語句を入れたあとの文章をそのまま覚えると、劇的に高得点が取れるようになります。

Q：「英検」の勉強は、入試の偏差値を上げますか。

A：今述べたような勉強方法をとれば、「高校入試」や「大学入試」の偏差値上昇に直結します。この方法で「英検」2級を勉強し、センター試験の過去問を確実にこなせば、センター試験で9割以上の得点が可能です。このような方法で英検3級に合格すれば、県立高校入試でほぼ満点が取れます。

Q：本当ですか。

A：はい、本当です。「英検に合格さえすればよい」というだけの勉強なら「はい、本当です」とはなかなか言えませんが、「音読練習、書き取り練習、問題練習」を徹底的に行った上で「英検」に合格するなら、大学入試や高校入試で大切な偏差値を確実に押し上げます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：なぜ日本人は英語で一生苦勞するのかと言えば、せつかく受験勉強をしているのに、ただ「合格すればよい」という方法で勉強しているからです。先に示したように、「英検」合格のための受験勉強をする際に徹底的な「音読練習」、「書き取り練習」、「問題練習」を繰り返せば、「英検」に確実に合格することはもちろん、高校や大学の入学試験にも合格し、コミュニケーションの手段として一生使える英語の基礎が身に付きます。どうせ勉強するなら、本格的な勉強をしましょう。